

2019年8月28日

コンサルタント会社 御中

一般社団法人 日本ダクタイトイル鉄管協会関東支部

2019年度 ダクタイトイル鉄管技術講習会のご案内

拝啓、立夏の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

また、平素は日本ダクタイトイル鉄管協会に対し、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊協会関東支部では、上下水道管路の更新をめぐる様々な状況の中、上下水道管路の更新促進並びに高機能化を目指すべく、ダクタイトイル鉄管の技術的検討および広報活動を継続的に行っております。

その活動の一環として、弊協会関東支部におきまして、今年度もコンサルタント会社の皆様を対象に「ダクタイトイル鉄管技術講習会」を下記の要領にて開催することに致しましたので、多数様のご参加をお待ちしております。

敬具

1.日時、講習内容

	実施日	時間	講演テーマ	備考
第1回	6月28日(金) *実施済	13:00~17:00 (12:45より受付)	テーマ① ダクタイトイル鉄管の基礎知識 テーマ② ダクタイトイル鉄管の管路設計演習	実務経験の浅い方が対象です
第2回	9月24日(火) 今回申込み	14:00~16:45 (13:45より受付)	テーマ① マンホールふた試験検証施設の見学 (マンホール蓋の変遷、すべり、がたつき、材質、浮上・飛散や下水道管路における水理現象等) テーマ② 下水道圧送管路における硫酸腐食箇所の効率的な調査診断技術導入ガイドライン(案)の説明	下水道事業に関わる方が対象です
第3回	10月31日(木) 後日申込み	12:45~17:00 (12:30より受付)	テーマ① ダクタイトイル鉄管の製造現場の見学 テーマ② GX形・NS-E種管の接合デモンストレーション テーマ③ GX形・NS-E種管の接合実習	ダクタイトイル鉄管の製造や接合方法をご存じない方が対象です 作業着が必要
第4回	11月29日(金) 後日申込み	13:00~17:00 (12:45より受付)	テーマ① 耐震型ダクタイトイル鉄管の概要と設計上の留意点 テーマ② GX形・NS-E種管の設計演習	設計実務者が対象です 筆記用具、電卓が必要

注) 第3・4回の技術講習会の参加申し込みは、後日、改めてご案内いたします。

また、講演テーマが変更になる場合がありますのでご了承ください。

2.会場

株式会社 G&U 技術研究センター

住 所：埼玉県比企郡川島町大字吹塚 732-157)

電話番号：TEL049-299-1028

***アクセスは別添資料をご参照ください。**

注) 第3回はクボタ京葉工場(船橋市栄町 2-16-1)

第4回は日本水道会館(東京都千代田区九段南 4 丁目 8 番 9 号)で開催予定です。

3.参加費

講習会の受講費は無料とさせていただきます。

(ただし、会場までの交通費等は各自でご負担願います。)

4.参加申し込み

添付「参加申し込み書」に必要事項を記入のうえ、**9月10日(火)**までに、「参加申し込み用メールアドレス」にメール送信をお願いいたします。

お申込みいただいた場合には、参加申し込みメール受信後1週間以内に弊協会より申込み受付完了のメールを返信させていただきますので、弊協会より申込み受付完了メールが返信されない場合は、宍倉までお問い合わせをお願いします。

なお、誠に勝手ながら会場の都合上、1社当たりの参加人数を3名様までとし、参加申し込み数が定員になり次第、申込みを締め切らせていただきますので、ご了承ください。

「参加申し込み用メールアドレス」

y-shishikura@jdpa.gr.jp (日本ダクティル鉄管協会 関東支部 宍倉)

5.連絡先

何かご不明な点がございましたら、下記連絡先までお問い合わせください。

日本ダクティル鉄管協会 関東支部 宍倉 TEL 03-3264-6654

6.スケジュール

第2回/9月24日(火)

時間	内容	講師	備考
13:45~14:00	受付		15分
14:00~14:10	開催挨拶	日本ダクタイトイル鉄管協会	10分
14:10~15:40	テーマ① マンホールふた試験検証施設の見学 (マンホール蓋の変遷、すべり、がたつき、材質、浮上・飛散や下水道管路における水理現象等)	G&U 技術研究センター 説明員	90分
15:40~15:50	休憩		10分
15:50~16:40	テーマ② 下水道圧送管路における硫酸腐食箇所の効率的な調査診断技術導入ガイドライン(案)の説明	日本ダクタイトイル鉄管協会 技術委員	50分
16:40~16:55	質疑応答	日本ダクタイトイル鉄管協会 技術委員	15分
16:55~17:00	閉会挨拶	日本ダクタイトイル鉄管協会	5分

注) 第3・4回に開催予定のスケジュールについては、後日、ご案内いたします。
「ダクタイトイル鉄管技術講習会のご案内」にてご確認ください。

7.CPD プログラム認定について

本技術講習会は CPD プログラム認定は実施しておりません。
ただし、ご希望の方には、受講証明書を発行させていただきます。

別添資料

会場までのアクセス

<所在地>

〒350-0164
埼玉県比企郡川島町大字吹塚732-157
TEL 049-299-1028 (代)

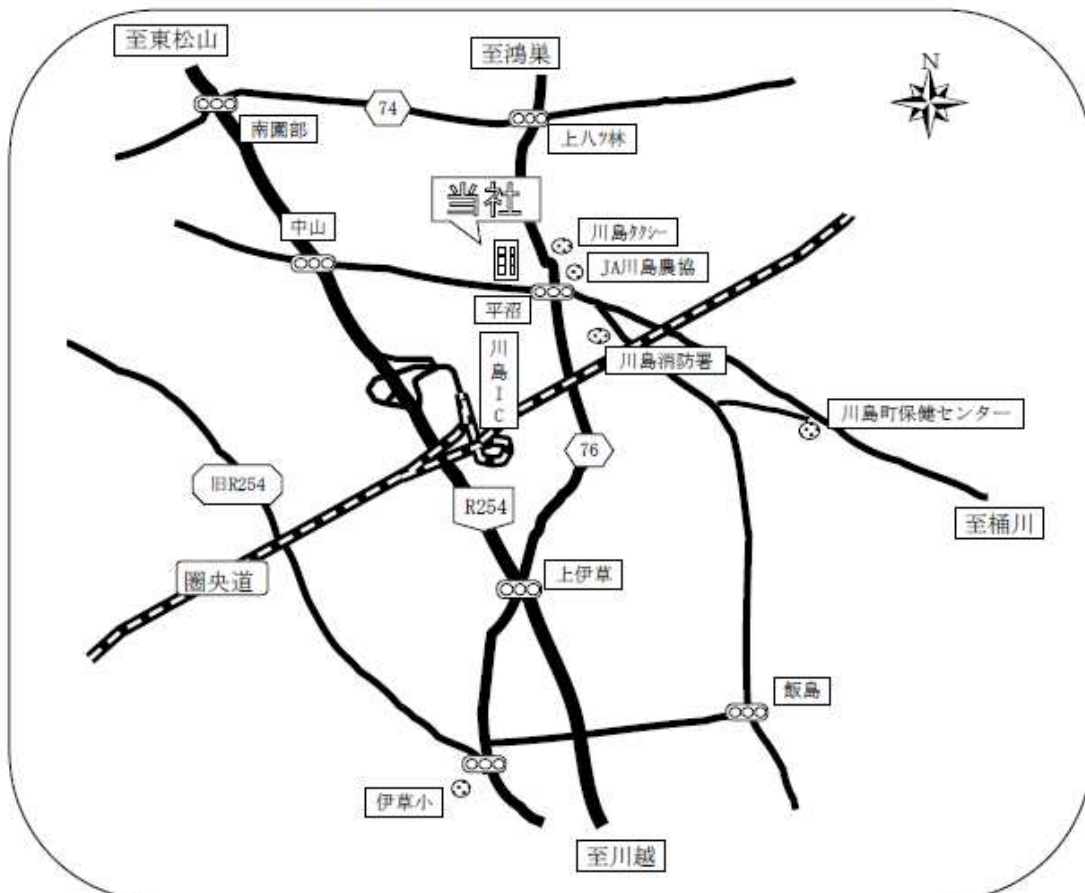
<交通機関>

電車の場合

- 東武東上線川越駅東口下車 バスまたはタクシーで約30分 川島農協前下車
(バスのご利用は次頁参照)
- JR高崎線桶川駅西口下車 タクシーで約25分 川島農協前下車
(バスの運行はございません)
- JR高崎線鴻巣駅東口下車 バスまたはタクシーで約25分 川島農協前下車
(バスのご利用は次頁参照)

車の場合

- 東京方面から
関越自動車道下り～鶴ヶ島JCT～圏央道川島ICより東松山方面へ
国道254号線『中山』交差点を右折⇒『平沼』交差点を左折⇒すぐ左折 (川島ICより約5分)
- 群馬方面から
関越自動車道上り～東松山ICより国道254号線を川越・川島方面へ
『中山』交差点を左折⇒『平沼』交差点を左折⇒すぐ左折 (東松山ICより約25分)
関越自動車道上り～鶴ヶ島JCT～圏央道川島ICより東松山方面へ
国道254号線『中山』交差点を右折⇒『平沼』交差点を左折⇒すぐ左折 (川島ICより約5分)
- 栃木・茨城方面から
東北自動車道上り～久喜白岡JCT～圏央道川島ICより東松山方面へ
国道254号線『中山』交差点を右折⇒『平沼』交差点を左折⇒すぐ左折 (川島ICより約5分)



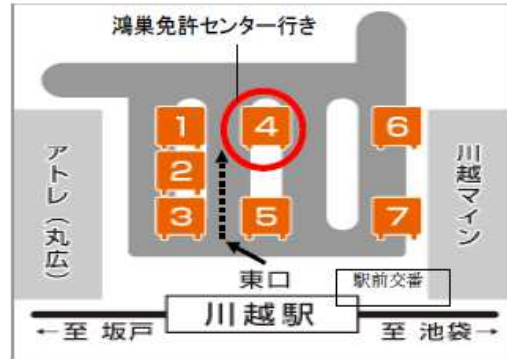
<公共交通機関>

- 川越駅 バス乗り場：4番乗り場（川越03 鴻巣免許センター、鴻巣駅、新荒子行き）
 駅改札側「東口」正面 左から2番目の階段を降りる
 （所要時間 駅改札から1～2分程度）
 運賃：420円 所要時間：約30分

川越駅発
 鴻巣免許センター、鴻巣駅西口
 川島農協前下車

時	分
8	
9	
10	25
11	
12	
13	29
14	29
15	16

(2018. 1. 11現在)



- 鴻巣駅 バス乗り場：1番乗り場（川越03 川越駅行き）
 駅改札左側「西口」の階段を降りる
 運賃：460円 所要時間：約25分

鴻巣駅西口発 川越駅行き
 川島農協前下車

時	分
8	19, 57
9	30
10	
11	
12	00
13	
14	
15	00, 29

(2018. 1. 11現在)



◇お帰り

川越駅行き

時	分
10	
11	
12	18
13	
14	
15	18, 47
16	18
17	06
18	06, 58

(2018. 1. 11現在)

鴻巣駅行き

時	分
10	50
11	
12	
13	54
14	54
15	41
16	
17	35
18	

(2018. 1. 11現在)

- ・バスの本数が少ないため、最寄駅からタクシーのご利用をお奨め致します。
- ・もし、お車でご来場の方は、駐車台数に限りがあるため、申込み時に台数をお知らせください。（駐車場の状況により、お断りする場合がございます。）

<参考> 見学概要

	<p>◆展示室案内 (25 分)</p> <p>マンホールふたは、社会環境の変化や異常気象の増加に伴い、高度な安全性が求められています。これまで開発されてきたマンホールふたの変遷を交えて、豪雨や老朽化、すべり等のリスクに対し必要とされる性能についてご紹介します。</p>
	<p>◆マンホールふたのすべりについて (10 分)</p> <p>路面は、乾燥している状態より濡れた状態の方がすべりやすくなります。また、アスファルトとふたとのすべりの差が大きい程、スリップの危険が高まります。ふたのすべりやすさについて、乾燥と湿潤、ふたの模様形状や摩耗、それぞれの状態とアスファルト(密粒度、透水性)とのすべりの違いを歩行により体感していただきます。</p>
	<p>◆マンホールふたのがたつきについて (10 分)</p> <p>道路に設置されるマンホールふたは、繰り返しの車両通行により、がたつき、飛散および騒音が発生する可能性があります。道路環境を再現した試験機を用い、マンホールふたに求められる耐久性についてご紹介します。</p>
	<p>◆マンホールふた専用材質の機械的特性について(10 分)</p> <p>マンホールふたは、鋼に匹敵する強度や延性があり、更に耐摩耗性、加工性、耐候性等の面でも優れた性質を持つ鑄鉄(FCD:球状黒鉛鑄鉄)で作られています。また、マンホールふたに求められる安全性能を満たすために専用材質となっています。見学では専用材質の機械的特性と試験方法についてご紹介します。</p>
	<p>◆豪雨時の下水道管路における水理現象について (15 分)</p> <p>豪雨によって下水道管路内の圧力が上昇することで、マンホールふたの浮上・飛散が発生する可能性があります。マンホールふたの浮上・飛散に繋がる水理現象を水理モデル施設を用いて再現し、豪雨時に管路内に流れる水や空気の動きについてもご覧いただけます。</p>
	<p>◆豪雨時のマンホールふた浮上・飛散について (10 分)</p> <p>豪雨時に発生するマンホールふたの浮上・飛散の現象を、実際に浮上防止機能付きと機能の無いふたの 2 種類を用いた再現により、内圧発生による空気や水がふたに与える影響やふたに起こる現象の違いをご覧いただけます。</p>